

氷見伏木信用金庫の

2022年度

SDGs活動報告

当金庫役職員全員が共通の認識を持って課題に取り組み、解決に向けた具体的な活動を行うことにより、当金庫だけでなく、総代のみなさま、お取引先のみならず、さらに地域におけるステークホルダーのみなさまにまでSDGsを広げ、地域全体で持続可能な社会の実現に向け活動を行っています。

地域創生に向けた取組

地域活性化に向けた活動に積極的に取り組んでいる長坂地区の棚田オーナー制度の、田植え・稲刈りに参加しました。



JR氷見線応援委員会へ参画し、忍者ハットリくん列車と駅構内の清掃活動に参加しました。



新たな市内消費循環に繋げる取り組みとして、氷見市「まちなかランチマップ」を14,000部作成し市内各所に配布しました。



「ひみふしきマルシェ」「らくがきイベント」を開催し、氷見市景観まちづくり実証実験に参加しました。



金融仲介機能の強化

取引先に各種補助金等の支援制度を紹介し、2022年度は145件の申請支援を行ったほか、経営力向上計画や先端設備導入計画等の作成支援も行いました。



事業承継を円滑に進めるための支援として、中小機構と連携し14件の個別相談を行いました。



顧客保護



伏木支店にAEDを設置し、使用方法について職員に研修を実施しました。



コスト管理



通帳レスキャンペーンを実施し、通帳レス210口座獲得。3月末現在通帳レス口座は698口座となりました。



環境問題の取組みの一環として、全役職員毎年ノーネクタイでの就業としました。

人材育成



地元の高校へ職員を講師として派遣し、「地域社会の課題やまちの賑わいづくり」、「氷見市の金融事情と金融機関の役割」について講義を行いました。

職員の資格取得支援として受検参考書の無償提供、受検料の補助を行いました。



地域全体で、持続可能な社会の実現に向け活動を行ってまいります。